河童と古代ロマンの里

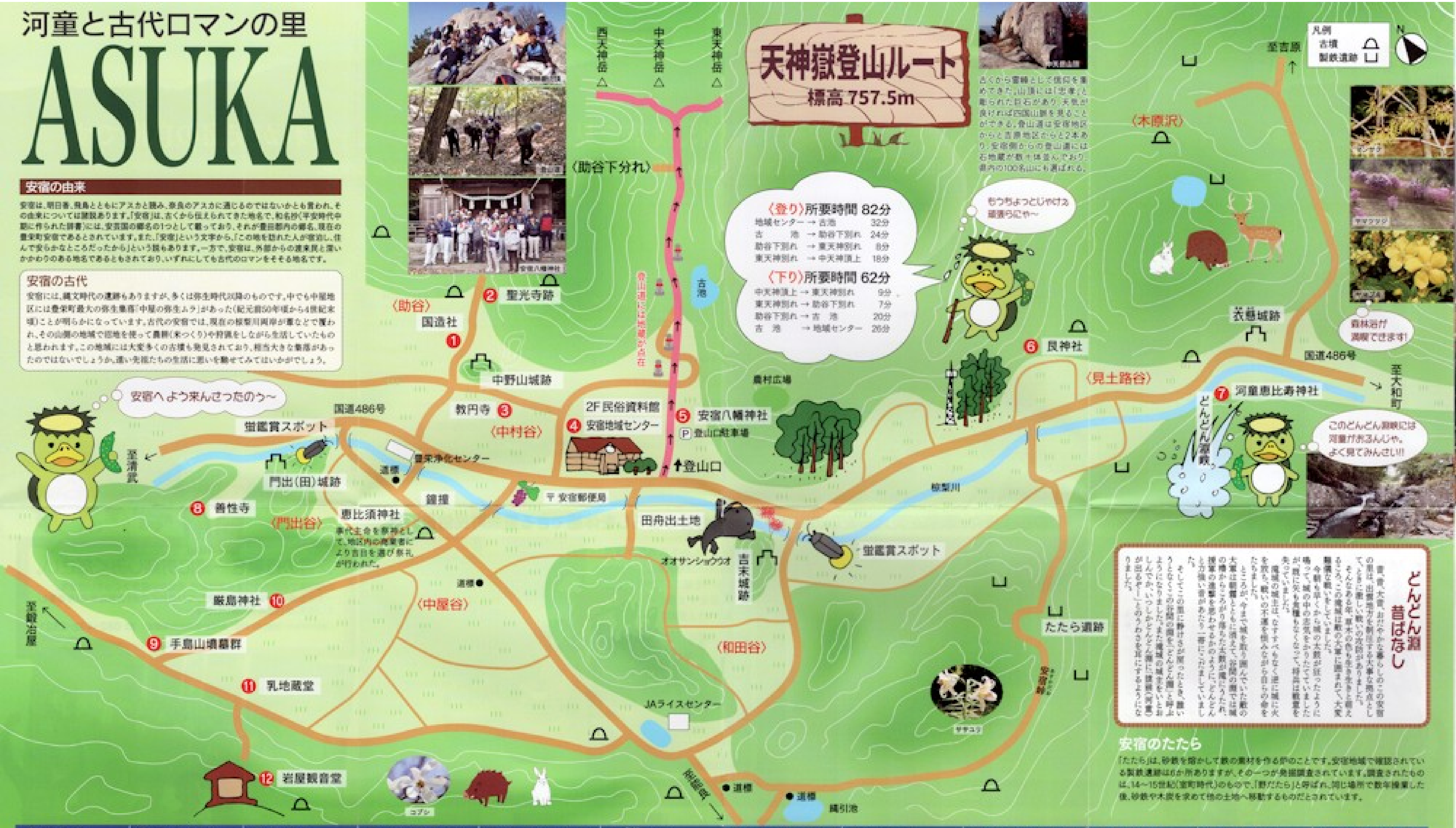
ASUKA

安宿の由来

安宿は、明日香、飛鳥とともにアスカと読み、奈良のアスカに通じるのではないかとも言われ、その由来については諸説あります。「安宿」は、古くから伝えられてきた地名で、和名抄（平安時代中期に作られた辞書）には、安芸国の郷名の1つとして載っており、それが豊田郡内の郷名、現在の豊栄町安宿であるとされています。また、「安宿」という文字から、「この地を訪れた人が安泊し、住んで安らかなところだったから」という説もあります。一方で、安宿は、外部からの渡来民と深いかかわりのある地名であるともされており、いずれにしても古代のロマンをそそる地名です。

安宿の古代

安宿には、縄文時代の遺跡もありますが、多くは弥生時代以降のものです。中でも中屋地区には豊栄町最大の弥生集落「中屋の弥生ムラ」があった（紀元前50年頃から4世紀末頃）ことが明らかになっています。古代の安宿では、現在の椋梨川両岸が森などで覆われ、その山麓の地域で鉄器を使って農耕（米つくり）や狩猟をしながら生活していたものと思われます。この地域には大変多くの古墳も発見されており、相当大きな集落があったのではないでしょうか。遠い先祖たちの生活に思いを馳せてみてはいかがでしょう。



天神嶽登山ルート

標高 757.5m

古くから霊峰として信仰を集めてきた。山頂には「岩座」と称せられた巨石があり、天気が良ければ四国山脈を見ることができる。登山道は安宿地区からと吉原地区からと2本あり、安宿側からの登山道には石地蔵が数十体並んでおり、県内の100名山にも選ばれる。

〈登り〉所要時間 82分

地域センター	→ 古池	32分
古池	→ 助谷下別れ	24分
助谷下別れ	→ 東天神別れ	8分
東天神別れ	→ 中天神頂上	18分

〈下り〉所要時間 62分

中天神頂上	→ 東天神別れ	9分
東天神別れ	→ 助谷下別れ	7分
助谷下別れ	→ 古池	20分
古池	→ 地域センター	26分

どんどん淵昔ばなし

昔、昔、大昔、おだやかな暮らしのこの安宿の里は、出雲方を制圧する大事な拠点として、とても激しい戦いの舞台となりました。

そんなある年、尼子の軍勢と毛利軍とが相まみえるべく、この滝の上の城は敵の大軍に囲まれて、大変難儀な戦いをしていました。

今朝も早くから城の太鼓が鳴ったように鳴って、城の中の志気を上げていましたが、「敵に気を奪われ」無くなって、城兵は戦意を失っていました。

滝壺の城主は、なすすべもなく遂に城に火を放ち、戦いの不運を恨みながら自らの命を絶ちました。

ところが、今まで城を取り囲んでいた敵の大軍は朝霧とともに消えて、谷間の奥では滝の轟きから祈りの様な太鼓が鳴らされ、援軍の進撃を思わせるかのように、どんどんと力強い音があたり一帯にこだましていました。

そしてこの里に静けさが戻ったとき、誰いうとなくこの谷間の淵を「どんどん淵」と呼ぶようになりました。また滝壺の城主をいとおしんでか、いつしか「どんどん淵に河童（河童）が出るぞー」とのうわさを耳にするようになりました。

安宿のたたら

「たたら」は、砂鉄を溶かして鉄の素材を作る炉のことです。安宿地域で確認されている製鉄遺跡は6か所ありますが、その一つが発掘調査されています。調査されたものは、14～15世紀（室町時代）のもので、「野だたら」と呼ばれ、同じ場所で数年操業した後、砂鉄や木炭を求めて他の土地へ移動するものだとされています。

① 国造社

助谷地区にあり、古老の伝によると、もと虚空蔵菩薩のお堂で、天正13年の千光寺に国造への御願をした。その後、祭典を行うようになったといわれている。（7月20日～8月1日）

② 聖光寺跡

天元年間（978～983）、親子僧により建立と伝わる。7堂伽藍と寺領30ヶ寺を擁する大寺院であった。2度の大火の後、1636年、広島に移り、現在、広島市東区山根町に所在。門跡、鐘楼、鳥居等の痕あり往時を偲ぶ。

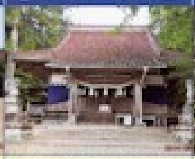
③ 教円寺

「高田山 教円寺」、真宗本願寺派。往古には天台宗比叡山延暦寺の末寺で、明応7年（1498）宗旨を浄土真宗に改め、本願寺となり、500年以上の歴史を経て今日に至る。

④ 安宿地域センター

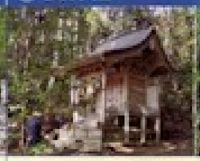
平成5年4月から安宿公民館に、平成20年からは安宿地域センター、2階は豊栄町民俗資料館。この建物は、昭和20年安宿小学校として建設・開校されたが、小学校の統合に伴い、平成5年に閉校された。

⑤ 安宿八幡神社



1435年、分社により安宿の氏神とされ、社殿は1804年4月に再建、拝殿は1979年建立され、昭和11年改築。神楽祭神楽は1729年（享保14年）から継承されている。

⑥ 艮神社

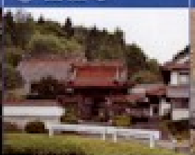


見土路地区にあり、社殿、神楽殿がある。口伝によれば元来小字安宿にあり、安宿の宮として祀られ、日野氏が社参を勤めたという。例祭は11月23日～23日の直前の日曜日。

⑦ 河童恵比寿神社

見土路地区のどんどん淵畔にあり、祭神は事代主命で吉日を選び祭礼が行われた。

⑧ 善性寺

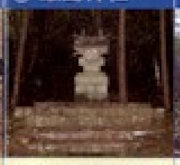


「護持山善性寺」浄土真宗本願寺派。往古には真言宗の道場であったが、天文9年（1540）本願寺派道場として開基。開基、初代蓮西より歴代の住職に受け継がれ、400年以上の歴史を経て今日に至る。

⑨ 手島山墳墓群

「中屋の弥生ムラ」に近接した丘陵にあり、弥生時代後期から古墳時代（3世紀中頃～5世紀）に営まれた墳墓群（周溝墓）である。発掘調査された墳墓は31基で、成人墓が10基、幼少児墓が11基で、30体分の人骨が発見された。

⑩ 厳島神社

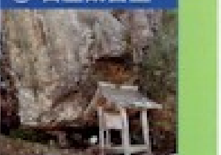


中屋地区にあり、宗像三女神を祭神とし、吉日を選び春秋により祭礼が行われている。

⑪ 乳地蔵堂

中屋地区にあり、本尊は右が乳地蔵尊で一尺五寸の石造、中が二尺五寸の地蔵尊、左が一尺五寸の地蔵。子授かりの乳の出が悪くなるのを祈願し、祈願すれば霊験があるといわれる。

⑫ 岩屋観音堂



本尊は観世音菩薩。巨岩のもとに小堂建立。聖光寺守護の観音とも言い伝えられ、地域の人により参道が整備され供物等が供えられ今日に至る。

※説明文等は豊栄町史（近現代編・通史編）並びに高橋邦男氏の著書から引用しました。